

別添 3

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		岐阜県		個別地域名		中部山岳国立公園		評価年度	令和 4 年度		
事業実施期間		平成 28 年度～平成 32 年度		事業費		175,448 千円		(うち国費		87,719 千円)	
事業の実施内容		<p>利便性・快適性の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している既存施設（標識等）を撤去し、新たな施設を整備。 ・歩道については、利用者の利便性や快適性を考慮し、高齢者等にも歩きやすい構造にした。 ・増加する外国人観光客の安全性、利便性向上のため、外国語併記の看板を整備。 <p>施設の安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴う破損により、利用上支障が生じている階段工などの施設について、取り替え。 ・破損により利用に支障が出ている駐車場、路面等の復旧を施工。 <p>実施箇所</p> <p>乗鞍鶴ヶ池園地、日影平・乗鞍岳歩道、平湯道路（歩道）、平湯園地、平湯駐車場、平湯峠園地、槍平南岳線歩道、平湯博物展示施設、新穂高温泉園地、新穂高温泉駐車場、干石平・西穂高線歩道、平湯・乗鞍岳線道路（歩道）</p>									
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設を整備したことにより利用者の利便性が向上。 ・多くの利用者がある公衆トイレについて改修工事を実施。 ・外国人観光客の利便性向上のため外国語を併記した看板を設置。 								
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価		
						基準年度	目標年度	達成年度			
			破損・老朽化施設の改修による事故・遭難数の減	人	老朽化施設を整備したことによって減った事故・遭難者の数	3	0	0	国立公園施設の整備により、施設の破損・老朽化を原因とする、事故・遭難者は発生していない。		
		自然公園入れ込み者数の増	人	中部山岳国立公園の岐阜県内施設における利用者の数	969,505	1,454,257	388,821	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い利用者数は大きく減少したが、自然を求めるニーズは増加しており、コロナ後の利用増加が期待される。			
		外国人観光客入れ込み者数の増	人	中部山岳国立公園の岐阜県内施設における外国人利用者の数	92,622	277,866	13,997				新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴い、増加傾向にあった国外からの外国人観光客は消滅状態となったが、コロナ後の利用増加が期待される。
その他の指標											
整備に伴う取り組みの実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園利用者の利便性向上のため、時代の変化や利用状況に応じて整備内容を検討し、必要な改修等を実施している。 									
今後の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・国立公園満喫プロジェクトの対象公園として、老朽化施設の更新やインバウンド対応を推進し、安全・快適で上質な利用環境を整備する。 									

別添 3

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		岐阜県		個別地域名		白山国立公園		評価年度	令和 4 年度	
事業実施期間		平成 28 年度～平成 32 年度		事業費		22,515 千円		(うち国費 11,257 千円)		
事業の実施内容		<p>利便性・快適性の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している既存施設（標識等）を撤去し、新たな施設を整備。 ・歩道については、利用者の利便性や快適性を考慮し、高齢者等にも歩きやすい構造にした。 ・増加する外国人観光客の安全性、利便性向上のため、外国語併記の看板を整備。 <p>実施箇所 白山南山稜線登山道 白山北山稜線道路（歩道） 大白川園地 三方岩岳園地</p>								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設を整備したことにより利用者の利便性が向上。 ・外国人観光客の利便性向上のため外国語を併記した看板を設置。 							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価	
						基準年度	目標年度	達成年度		
		その他の指標	破損・老朽化施設の改修による事故・遭難数の減	人	老朽化施設を整備したことによって減った事故・遭難者の数	3	0	0	国立公園施設の整備により、施設の破損・老朽化を原因とする、事故・遭難者は発生していない。	
						H27	R2	R2		
整備に伴う取り組みの実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ・自然公園利用者の利便性向上のため、時代の変化や利用状況に応じて整備内容を検討し、必要な改修等を実施している。 								
今後の取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による腐朽、破損箇所が多数あり、利用者の安全性、利便性向上のための整備が急務となっているため、継続的に整備を行う。 								